

小論文試験は、幅広い知見によって支えられた分析力と論理的思考力、思考の過程および結果を的確に表現する論述力、正義と権利に敏感で、社会・経済に対する強い関心を持ち、そこで生じている問題を発見し、これを適切に処理することができる基本的能力を受験者が有しているかを判定する目的で実施される。

本小論文試験は、動物の（法的）保護に関する問題文を素材とするものである。設問1は、問題文に挙げられている動物の（法的）保護に関する複数の考え方の要点を、何が相違点となっているかを明確にしつつ整理することを求めるものである。設問2は、動物の（法的）保護に関する受験者の考え方を、問題文や設問1で行った整理を踏まえつつ論じるよう求めるものである。なお、本小論文試験は、上記の能力を評価の対象とするものであって、法律学にかかる特別な知識の有無や法律の条文を解釈する能力等を評価の対象とするものではない。